

問1 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。

問2 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問3 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない^{じょうたい}状態のことを何といいますか。

問4 水が空気中に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。

問5 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問6 水が冷やされて^{こお}凍り始めるときの温度は、何℃ですか。

問7 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど^へ減らないのはなぜですか。

問8 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

問9 空気の中にある^{すいじょうき}水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、^{すいてき}水滴になってつく^{げんしやう}現象を何といいますか。

問10 水が冷えて^{こお}凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。

問11 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問12 水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていきます。このとき、入れ物の中の水全体の量はどうなりますか。

問13 気体である^{すいじょうき}水蒸気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。

問14 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

問15 水を入れたコップにふたをして置いておくと、中の水の量はどうなりますか。

問16 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、^{ようき}容器によって自由に形を変えられる^{じょうたい}状態を何といいますか。